

長谷川 佳彦

法学研究科・准教授

【研究】

今年度は、ドイツ行政裁判所法の仮命令制度を改めて考察した論文を公表したが、その中に、ここ数年取り組んでいる、ドイツにおける抗告訴訟と当事者訴訟の概念・相互関係に関する歴史的研究の成果の一部を盛り込むことができた。また、同じくここ数年、関西・中国地区の行政不服審査会の答申・裁決の分析を行ってきたが、その成果を取りまとめた論文を執筆した。さらに、『行政判例百選Ⅱ〔第8版〕』に最一小判令和元年7月22日の解説を執筆した。以上の他、これまでの研究を評価されて、令和4年度滝井繁男行政争訟奨励賞(研究部門)を受賞した。

【教育】

法学部において「行政法3」、「演習1・2」、「法政導入演習」を、法学研究科において「行政法特殊講義2」を、高等司法研究科において「行政法応用」をそれぞれ担当した。

【管理運営】

法学部教務委員会委員、法曹コース連携協議会委員、法政実務連携センター運営委員会委員、および学生支援室室員を務めている。前二者との関係では、法曹コース担当教員を務めている。また、全学教育推進機構・共通教育実施推進部・教養教育部門兼任教員、蛋白質研究所研究倫理審査委員会委員、および就職担当教員も務めている。

【社会貢献】

大阪市公文書管理委員会委員、および吹田市公平委員会委員を務めている。また、令和4年司法試験考査委員(行政法)を務めた。